別記様式第2号(第4関係)

年　　月　　日

試用期間評定表（附属学校教員用）

試用期間　：　　　　　年　　月　　日　から　　　　　年　　月　　日

【被評定者】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 所属 |  | 職名 |  |
| 職員番号 |  | 氏名 |  |

【一次評定者及び二次評定者】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 一次評定者 | 二次評定者 |
| 所属 |  |  |
| 職名 |  |  |
| 氏名(自署) |  |  |

--------------------------------------------------------------------------------------

＜評定内容＞

①　勤務状況

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評定項目 | 評定基準 | 評定 | |
| 一次評定者 | 二次評定者 |
| イ）出勤割合 | ・【出勤割合算出対象日（※２）／要勤務日】の割合が50％以上あったか。  （※２）実際に勤務した日，年次有給休暇，特別休暇，労災等休暇，育児休業及び介護休業の日数 | 可  不可 | 可  不可 |
| ロ）遅刻・早退，無断欠勤 | 次の事項を全て満たしているか。  ・　遅刻又は早退を繰り返していなかったか。  ・　無断欠勤はなかったか。 | 可  不可 | 可  不可 |
| （評定理由：一次評定者） | | | |

②　勤務態度

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 評定項目 | 評定基準 | 評定 | |
| 一次評定者 | 二次評定者 |
| イ）規律性 | 次の事項を全て満たしているか。  ・　就業規則に規定されている服務規律を遵守していたか。  ・　自分勝手な行動で他人に迷惑をかけていなかったか。  ・　無断で勤務場所を長時間離れていなかったか。 | 可  不可 | 可  不可 |
| ロ）協調性 | ・　自分の役割を踏まえた上で，関係者と協力し，良好な人間関係を形成していたか。 | 可  不可 | 可  不可 |
| （評定理由：一次評定者） | | | |

③-1　業務遂行状況（教諭用）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評定項目 | 評価要素 | 着眼点 | 評定基準 | 評定 | |
| 一次評定者 | 二次評定者 |
| 学習  指導 | イ）能力 | 知識・技能，分析力，企画・計画力，指導力 | 教科・科目に関する専門的知識・技能を活用し，指導方法の工夫・改善を行い児童生徒にわかりやすく指導できたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ロ）実績 | 達成度（質），正確さ  達成度（量）  迅速さ | 指導計画に基づいて指導を実施し，教科指導の目標を達成できたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ハ）意欲 | 規律性，責任感，積極性，協調性 | 児童生徒の実態に応じて教材や指導方法の工夫・改善を図ろうとしたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| 生徒指導等 | イ）能力 | 知識・技能，分析力，企画・計画力，指導力 | 生徒指導・進路指導に関する専門的知識・技能を活用し，児童生徒の実態に応じた計画を立案し実施できたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ロ）実績 | 達成度（質），正確さ  達成度（量）  迅速さ | 計画的な指導により，児童生徒が自己を生かしていく態度や主体的な進路選択・決定能力を育成したか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ハ）意欲 | 規律性，責任感，積極性，協調性 | 児童生徒への理解を深め，指導に関して必要な状況把握や情報収集を行い，指導方法の工夫・改善を図ったか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| （評定理由：一次評定者） | | | | | |

③-2　業務遂行状況（養護教諭用）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評定項目 | 評価要素 | 着眼点 | 評定基準 | 評定 | |
| 一次評定者 | 二次評定者 |
| 保健管理 | イ）能力 | 知識・技能，分析力，企画・計画力，指導力 | 児童生徒の心身の健康状態を把握し，快適な環境整備や適切な衛生管理を行うための助言や提案ができたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ロ）実績 | 達成度（質），正確さ  達成度（量）  迅速さ | 心身の健康問題や事故の発見・対応に向けた協力体制を作ることができたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ハ）意欲 | 規律性，責任感，積極性，協調性 | 積極的に健康に関する情報を収集し，児童生徒の健康状態の把握に努めようとしたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| 保健に関する指導 | イ）能力 | 知識・技能，分析力，企画・計画力，指導力 | 専門的な立場から，児童生徒の発達段階に応じた保健指導計画等の企画・立案ができたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ロ）実績 | 達成度（質），正確さ  達成度（量）  迅速さ | 児童生徒の健康，安全に対する意識を向上させるとともに，望ましい生活行動に向けた実践的態度を育成したか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ハ）意欲 | 規律性，責任感，積極性，協調性 | 積極的に健康に関する情報を収集し，担任等へ必要な情報提供を行ったか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| （評定理由：一次評定者） | | | | | |

③-3　業務遂行状況（栄養教諭用）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 評定項目 | 評価要素 | 着眼点 | 評定基準 | 評定 | |
| 一次評定者 | 二次評定者 |
| 食に関する指導 | イ）能力 | 知識・技能，分析力，企画・計画力，指導力 | 専門的な立場から，児童生徒の健康的な食生活の習慣が形成されるよう計画的・継続的な食の指導に関する企画・立案ができたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ロ）実績 | 達成度（質），正確さ  達成度（量）  迅速さ | 児童生徒の食生活や食に関する実態を把握し，望ましい食習慣の習得のための指導や個別の相談指導を行ったか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ハ）意欲 | 規律性，責任感，積極性，協調性 | 積極的に望ましい食習慣に関する情報等を収集し，担任等へ必要な説明を行ったか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| 給食管理 | イ）能力 | 知識・技能，分析力，企画・計画力，指導力 | 児童生徒の食事状況を把握し，栄養の改善や適切な献立計画の作成ができたか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ロ）実績 | 達成度（質），正確さ  達成度（量）  迅速さ | 児童生徒の実態を踏まえた給食管理を行い，食生活の合理化，栄養の改善を図ったか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| ハ）意欲 | 規律性，責任感，積極性，協調性 | 積極的に食に関する情報を収集し献立の工夫を行うなど児童生徒の食生活の改善に意欲的であったか。 | 良  可  不可 | 良  可  不可 |
| （評定理由：一次評定者） | | | | | |

--------------------------------------------------------------------------------------

◎二次評定結果

|  |  |
| --- | --- |
| 勤務成績良好の可否 | 可　・　不可 |

（勤務成績良好の可否の判断基準）

　　　○　一次評定者の評定

　上記各評定項目・評定要素（イ，ロ・・・）について，指導した場合の改善状況も含めて，「①勤務状況」及び「②勤務態度」については「可」又は「不可」，「③業務遂行状況」については，「良」，「可」又は「不可」でそれぞれの評定を行うとともに，当該評定結果に至った理由を記載する。

○　二次評定者の評定

一次評定者が評定した結果及び評定理由を踏まえて，「①勤務状況」及び「②勤務態度」については「可」又は「不可」，「③業務遂行状況」については，「良」，「可」又は「不可」でそれぞれの評定を行う。

　　　○　二次評定（勤務成績良好の可否）

各評定項目・評定要素の評定結果を基に，次の基準により二次評定（勤務成績良好の可否）を行う。

　　　　　　・　「①勤務状況」の２個の項目のうち，１個以上「不可」があり，「②勤務態度」及び「③業務遂行状況」の８個の項目・要素のうち，１個以上「不可」がある場合は，「勤務成績良好の可否」は「不可」とする。

　　　　　　・　「②勤務態度」及び「③業務遂行状況」の８個の項目・要素のうち，４個以上「不可」がある場合は，「勤務成績良好の可否」は「不可」とする。

　　　　　　・　上記以外の評定結果については，「勤務成績良好の可否」は「可」とする。

【最終評定】

|  |  |
| --- | --- |
| 職員としての適格性の有無 | 有　・　無 |

（職員としての適格性の有無の判断基準）

○　大学が，上記二次評定結果を踏まえ，総合的に判断する。